



組立て・取扱説明書

たき火BBQベース No.81063000

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく組み立ててください。
また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は、大切に保管してください。

■ ご使用前に

- ① パーツ類の破損、溶接外れなどがないか確認する。
(破損が見つかった場合は使用しないでください)
- ② 革手袋などを着用する。
- ③ 消火用の水をバケツなどに入れておく。
※ 火力が強すぎると、熱により変形・変色する場合がありますので、ご了承ください。

■ 組み立て方法

組み立て方法と注意をよく読み、番号順に正しく組み立ててください。



注意

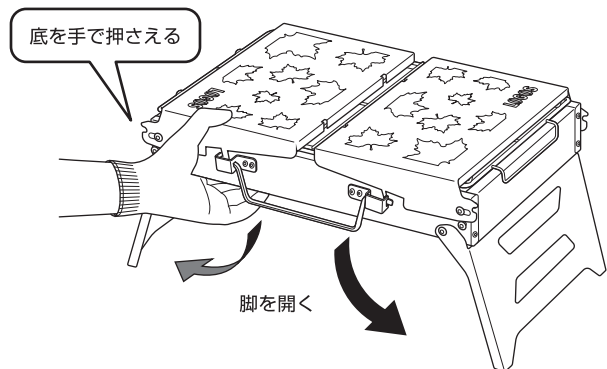


- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、必ず革手袋を着用する。
(やけど、鋭利な部分でけがのおそれ)
- 洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。

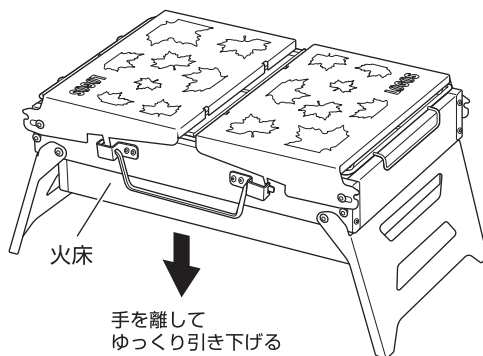
1 脚を開いて、火床を引き下げる

- 脚を開くと、火床が勢いよく下がるため、手で押さえながらゆっくり行う。
- 脚は確実に開ききる。

底を手で押さえる



脚を開く



火床

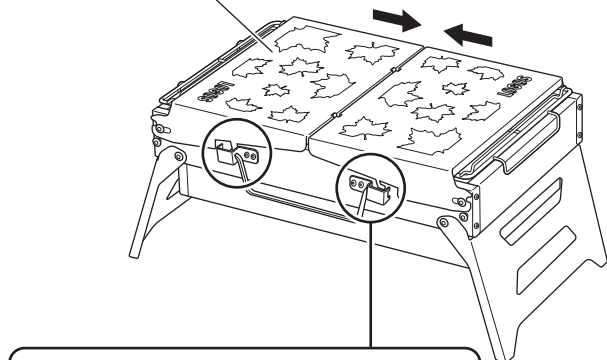
手を離して
ゆっくり引き下げる

2 ロックを解除し、サイドパネルを左右に開く

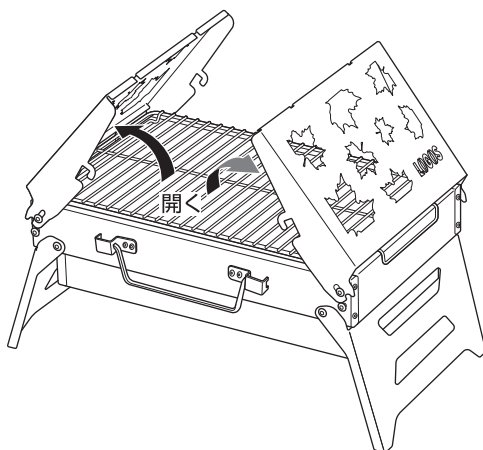
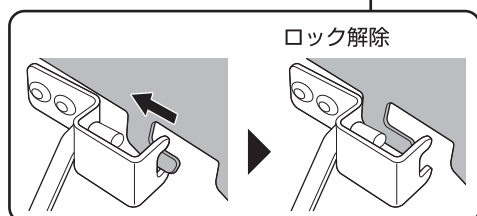
- サイドパネルを中央に寄せて(スライドして)、ロックを解除する。

サイドパネル

中央に寄せる



ロック解除



使用上の注意

- 事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。



警告

火災のおそれあり

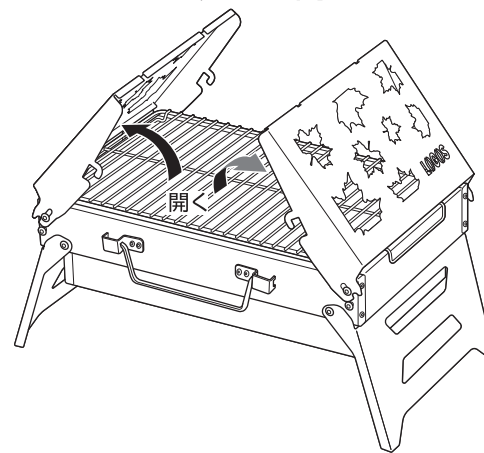
- ジェル状着火剤を使用する場合は、ジェルが火床に落ちないようにする。
(火床側面の穴から地面にこぼれ落ちるおそれ)
- 着火剤や燃料の代わりにガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しない。
- 火床側面の穴から炭などがこぼれ落ちることがあるため、焦げてもよい地面に設置する。
- 屋内やテント内、タープの下では使用しない。
- 強風・雨天時は使用しない。
- 残り火の始末や灰の処理、撤収は、完全に燃え尽きて、本体が冷えたことを確認してから行う。
- 燃料を入れすぎない。(炎が高く上がったり、本体の変形・変色のおそれ)
- 起伏や傾斜がない所に設置し、必ず安定した状態で使用する。
- 使用済みの炭を入れたまま、持ち運ばない。

やけど、けがのおそれあり

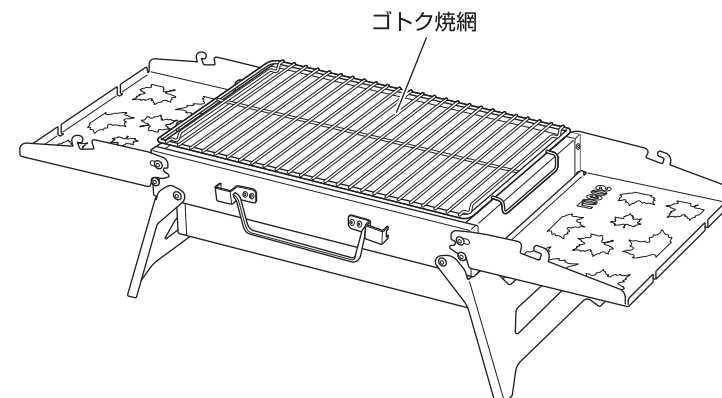
- 着火後は、本体を移動させない。また、素手では絶対に触らない。
- 着火後は、顔などを近づけない。また、燃えやすい物の周りで使用しない。
(炭がはぜたり火の粉などが飛ぶおそれ)
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせない。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせない。
- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのけがなどに注意する。
- 調理器具を使用する場合は、ゴトク焼網の上に確実に載せ、安定していることを確認する。
- 本体に水をかけて消火しない。
(急激な温度変化による破損のおそれ、また高温の水蒸気が発生し、やけどのおそれ)
- 鋭利な部分があるため、洗浄時はゴム手袋などを着用する。

BBQモード

■ サイドパネルを完全に開く



開く



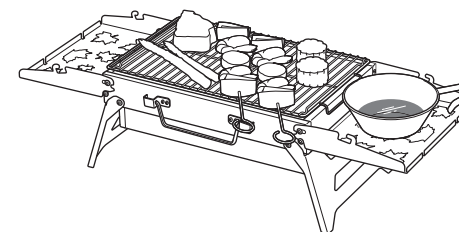
ゴトク焼網

- サイドパネルには、耐熱性の食器などを置くことができます。
※ 熱に弱い物は置かないでください。(溶ける原因)
- ※ サイドパネルに置くと熱の影響は受けますが、調理はできません。



警告

- 左右のサイドパネルに、それぞれ1kg以上の物を置かない。
(転倒して火災ややけどのおそれ)



燃料について



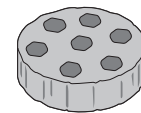
警告

- ジェル状着火剤を使用する場合、絶対に継ぎ足ししない。
(火災、やけどのおそれ)
- 使用前に、燃料のパッケージなどに記載の取扱説明書を必ず読む。

■ LOGOSエココロシリーズ(別売) ■ 市販の木炭を使用する

- 別売のエココロLOGOS・ラウンドストーブ2 (No.83100102) のご使用をおすすめします。

- ① エココロLOGOSを並べる
 - ・ 火床の上に置き、底と燃料の間に空気の通り道を作る。
 - ・ 燃料とゴトク焼網が接触しないようにする。
- ② エココロLOGOSの取扱説明書にしたがって着火する



- ① 着火剤を置く
 - ・ 火床の中心に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら炭を積み上げる。
 - ・ ジェル状着火剤の場合は、最下部の炭上に塗る。また、地面にこぼれ落ちていないことを確認する。
- ② 着火する
 - ・ 柄の長いライターなどで着火剤に着火する。
 - ・ ジェル状着火剤の場合、着火後には絶対に継ぎ足ししない。
- ③ すべての炭が着火状態であることを確認し、火床の上にまんべんなく広げる

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
- 本製品は熱により変形や変色、表面の剥がれなどが発生します。ご了承ください。

Point

- 炭は、ところどころ二重になるくらいが適量です。
- 備長炭の場合は、着火状態の木炭の上に備長炭を置いて着火してください。備長炭は直接着火できません。
- 備長炭は着火時にはぜることがあるため、必ずゴトク焼網で覆いながら着火し、離れて様子を見てください。

続きは裏面を見てください。

Designed by LOGOS CORPORATION

発売元: 株式会社LOGOSコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13

お客様専用回線 ☎ 0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

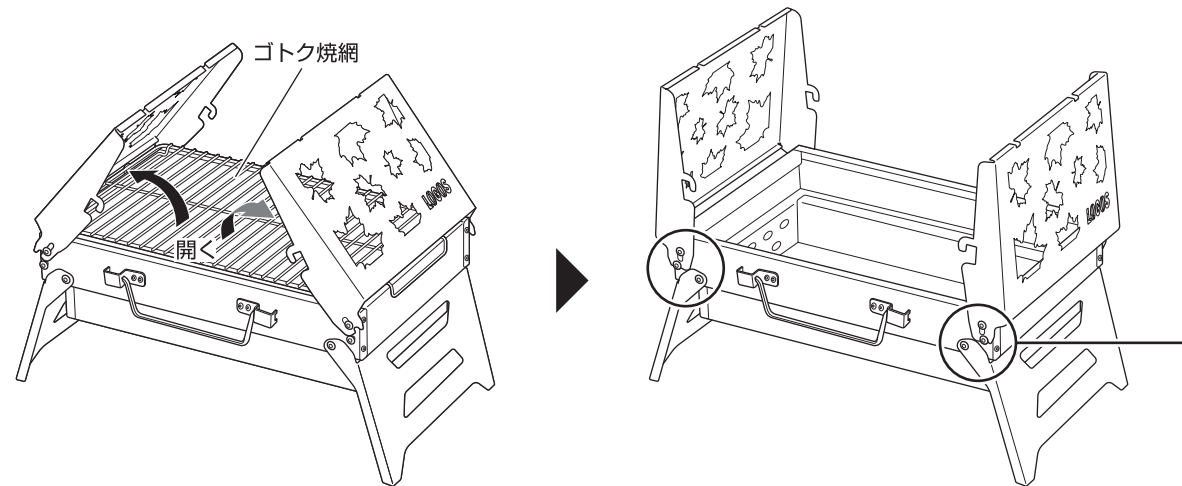
■ ホームページ / www.logos.ne.jp ■ 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

2023/08 HT

たき火モード

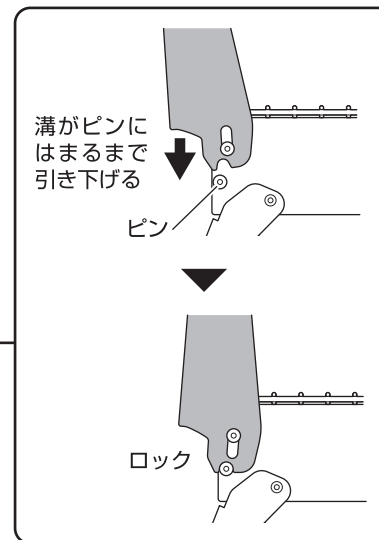
■ サイドパネルを垂直に立て、下部をロックする

- ゴトク焼網は取り外す。



注意

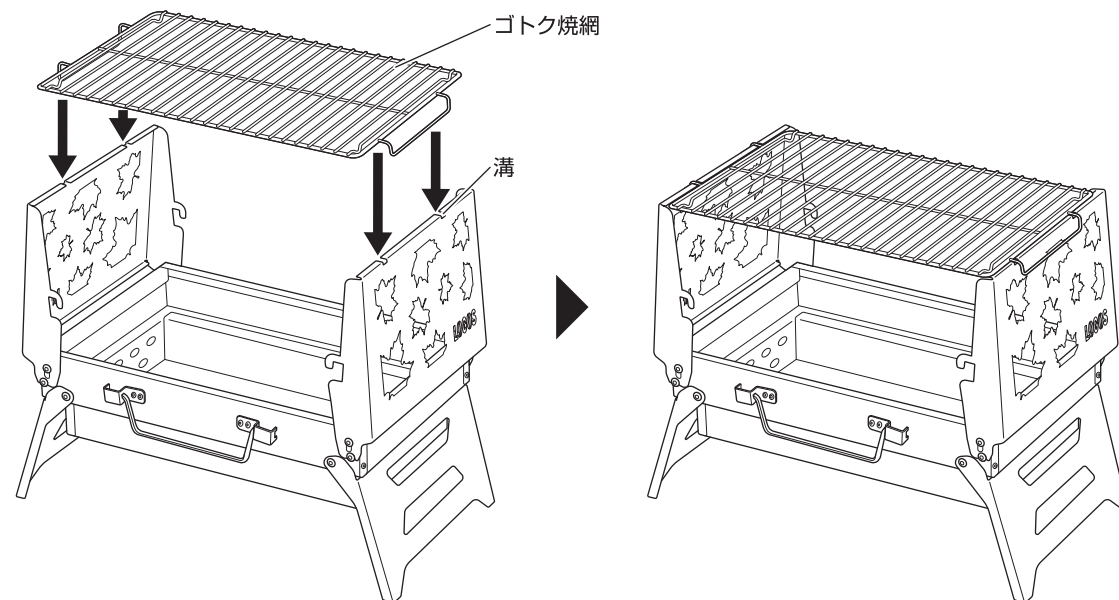
- サイドパネルが固定されて動かないことを確認してから使用する。
(確実にロックされていないと、サイドパネルが急に倒れてやけどや破損のおそれ)



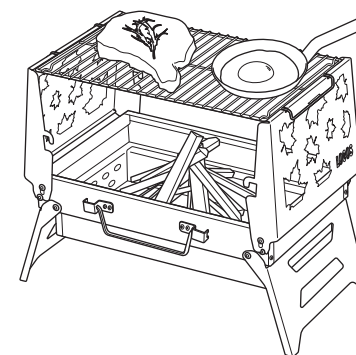
MAKIBI料理モード

■ たき火モードの状態、サイドパネルにゴトク焼網を載せる

- ゴトク焼網の取っ手を、サイドパネルの溝にひっかけるようにする。



- ゴトク焼網に食材や軽い調理器具を載せて調理できます。



警告

- MAKIBI調理モード時は、ゴトク焼網に合計1kg以上の物を載せない。
また、重い物はゴトク焼網の中心に置く。
(転倒して火災ややけどのおそれ)

燃料について

■ 市販の薪を使用する

- ① 焚き付けを置く
- ・ 火床の中心に、枯葉や小枝などの燃えやすい物を置く。

- ② 細い薪→大きい薪の順に積み上げる
- ・ たき火として使用する場合は、空気の通り道を作りながら、円錐形に組む。
 - ・ 本体から薪がはみ出ないようにする。
(はみ出すほど大きい薪や枝は、あらかじめカットしておく)

- ③ 着火する
- ・ 柄の長いライターなどで着火剤に着火する。
 - ・ 着火後しばらくは、なるべく薪を動かさずに様子を見る。



警告

- 本体から薪がはみ出ないようにする。
(火災、やけどのおそれ)

収納のPoint



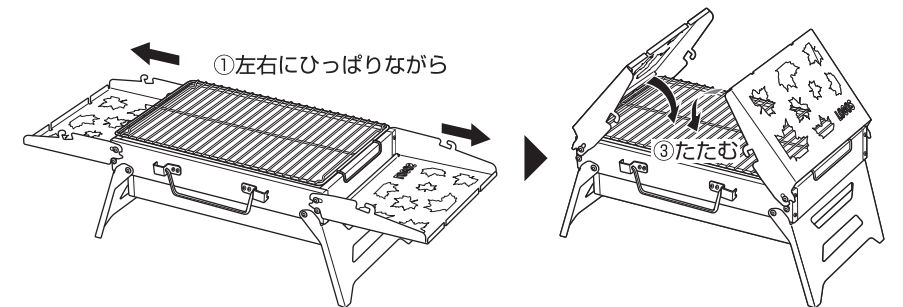
注意



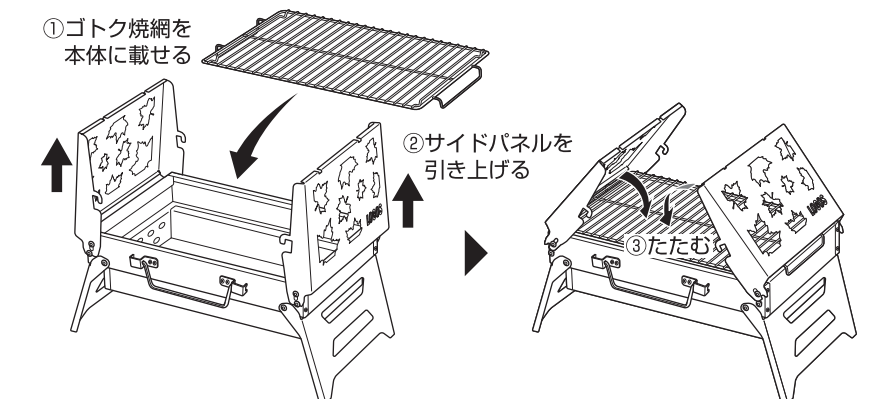
- 撤収の際は、必ず革手袋を着用する。
(鋭利な部分でけがのおそれ)

■ サイドパネルをたたむときは

- ・ BBQモードの場合は、サイドパネルを左右にひっぱりながらたたみます。
(ロック部分が引っかかり、たたみにくいことがあるため)



- ・ たき火/MAKIBI調理モードの場合は、サイドパネルを引き上げてロックを解除してからたたみます。



■ 収納時のロックについて

- ① 組み立て方法の逆順にたたむ
- ② サイドパネルをそれぞれ外側にスライドして、ロックする

